

武蔵野市平和施策のあり方懇談会の報告について

1 懇談会設置の経緯

本市では、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承していくため、市民等による実行委員会との協働により平和啓発事業を実施している。戦後70年余り経ち、戦争体験者が高齢化し、戦争体験の直接の伝承が難しくなっていることから、体験者の記憶を残し、次世代に伝えていく方法等を検討していく必要がある。また、世界各地で続いている国内・国際的な紛争などにより、市民の平和への関心、捉え方が変化してきている。

それらを踏まえ、今後の本市の平和施策のあり方について検討を進めるにあたり、市民や有識者から意見及び助言を求める場として、「武蔵野市平和施策のあり方懇談会」を設置した。

2 懇談会の経過

回	期 日	内 容
1	令和5年 8月22日（火）	<ul style="list-style-type: none">・懇談会の設置趣旨について・本市の平和に関する取組みの経緯等について・武蔵野ふるさと歴史館の取組みについて・平和施策のあり方について
2	9月28日（木）	<ul style="list-style-type: none">・平和に関する小・中学校における取組みについて・本市の多文化共生・交流事業に関する取組みについて・中高生世代からの意見聴取について・平和事業の課題について
3	11月22日（水）	<ul style="list-style-type: none">・中高生世代からの意見聴取について・今後、本市で実施すべき取組み、方向性について
4	12月26日（火）	<ul style="list-style-type: none">・今後、本市で実施すべき取組み、方向性について・報告案（素案）について
5	令和6年 1月24日（水）	<ul style="list-style-type: none">・報告案について

3 報告書

別紙「武蔵野市平和施策のあり方懇談会報告書」のとおり

4 今後の予定

報告書の内容に基づき、市及び非核都市宣言平和事業実行委員会で具体的な検討を進める。